

オーストリアの道路課金

中村 徹

ITS・新道路創生本部 調査役

概要

2013年4月のISO/TC204/WG5 ウィーン会議の前日に、オーストリアで実施している道路課金について紹介があったため、その内容について報告する。

運用システムは下記の通り。

(1) 運用開始時期

2004年

(2) 運用事業者

ASFiNAG

オーストリアの交通局管轄の管理運営会社（100%政府出資の民間企業）

(3) 対象車両

全車両（二輪車、乗用車、3.5t以上の車両）

(4) 課金方式

二輪車と乗用車はステッカー（ビニエット）

3.5t以上の車両はGo-Box（車載器：DSRC方式のETC）

(5) 課金対象道路

高速道路（約2,200km）

(6) 課金ポイント

一旦停止することのないフリーフロー方式が約800箇所（インターチェンジとインターチェンジの間に設置されたガントリーを通過した時、その区間の料金が加算される）

(7) 課金チェック

固定型：ガントリーが100箇所

移動型：パトロールカーが100台

(8) 課金額

乗用車：1年間80ユーロ（10,400円）、2か月20ユーロ（2,600円）、10日間8ユーロ（1,040円）（図1参照）

二輪車は乗用車の半額

3.5t以上の車両は、軸数と排気ガス規制によって、1km当たり0.145～0.3927ユーロ（18.85円～51.051円）（図2参照）

※1ユーロ=130円

(9) 罰金



図1 ステッカー（上段：二輪車、下段乗用車）

	車両の大きさ		
	2	3	4
A	0.145	0.2030	0.3045
B	0.150	0.2100	0.3150
C	0.165	0.2310	0.3465
D	0.187	0.2618	0.3927

A～Dは排気ガスの環境別金額は「ユーロ/km」

図2 3.5t以上の課金額



DSRC・レーザセンサ・カメラのある不正防止ガントリー

DSRC のみの課金ガントリー

図3 ガントリー (出典: WG5 国内分科会資料)



図4 二輪車のステッカー位置

残高不足や Go-Box を所持していない車両は罰金 220 ユーロ (18,720 円)

(10) その他

車載器はコストがかかるため、二輪車と乗用車はステッカーを採用し、今後も車載器の導入は考えていない。

2 課金の取締りチェック

課金の取締りは、道路上に設置されたガントリー (車両検知器、レーザーセンサー、カメラ、DSRC アンテナが設置。図3参照) とパトロールカーによって行われている。

(1) ガントリーによるチェック

- 乗用車のステッカーは、撮影した画像からステッカーを手動で位置を特定して、ステッカーの表示情報を自動で読み取るシステムとなっている。そのステッカーの情報が有効期限内かどうか判断する。
- 3.5t 以上の車両は、撮影したナンバープレートと検知した軸数と DSRC 通信による車載器情報が確認用モニターに表示される。ナンバープレートと軸数はオペレータが確認している。
- 二輪車はカメラで撮影しにくい位置にステッカーが貼ってあるため、取締りチェックが行われていない (図4参照)。

(2) パトロールカーによるチェック

- 乗用車のチェックは、車内の係員がステッカーを目視で確認し、不正が分かった場合、停止させて罰金を徴収する。
- 3.5t 以上の車両は、①パトロールカーが追い越し



図5 パトロールカー

たときに、パトロールカーのアンテナ (図5参照) と車載器が通信を行い、車載器情報を車内の端末でチェックする。不正があった場合、車両を停止させて罰金を徴収する。②ガントリーのチェックで不正車両を発見した場合、その付近を走行しているパトロールカーに情報が行き、取り締まるようになっている。

- 二輪車は目視がしにくいことと停止させると危険なので不正車両は黙認状態のようである。

3 車載器の自動販売機

図6のような機器で、Go-Box（図7参照）が下の取り出し口から出て、丸印にGo-Boxを挿入すると充電が出来る。



図6 車載器自動販売機



図7 Go-Box